

事務事業名		経営所得安定対策推進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																										
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目																										
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 款 項 目 事業																										
	基本事業名	02 農業経営の安定支援				01 06 01 03 09																										
根拠法令		岩手県経営所得安定対策等推進事業実施要領				事務事業区分																										
所属	部課名	農林水産部農林課		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 助成金等 E 一般(A～D以外)																												
	課長名	齊原 博幸																														
	係名	農政係	電話						27-3111																							
	担当者	戸羽 亮太	内線						347																							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
経営所得安定対策制度を円滑に実施するため、大船渡市農業再生協議会が経営所得安定対策等推進事業を行う場合に要する経費に対して助成する。						<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">総 投 入 量 (千 円)</td> <td>財 源 内 訳</td> <td>国庫支出金 都道府県支出金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0		正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金																														
		地方債																														
		その他																														
		一般財源																														
		事業費計 (A)	0																													
		正規職員従事人数																														
		延べ業務時間																														
		人件費計 (B)	0																													
		トータルコスト(A)+(B)	0																													
	交付金の最終的な使い道は会員の出張等旅費、生産調整対策推進員に対する謝金、事務費等経費、水田台帳管理のための委託費である。																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

地域推進活動計画の作成、交付申請、事業実施状況の報告、実績報告、地域協議会への交付金の交付

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

地域農業再生協議会

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

地域農業再生協議会事業を円滑に実施してもらう。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安定して農業を営む。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 地域農業再生協議会事業費	千円
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 地域農業再生協議会	協議会
キ	
ク	
サ 転作作物作付面積	ha
シ	
ス	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 転作作物作付面積	ha
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費 投入量	年度 単位	27年度(実績)		28年度(実績)		29年度(実績)		30年度(実績)		元年度(実績)		2年度(実績)	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
財 源 内 訳	国庫支出金	1,616	1,493	1,454	1,329	1,329	1,359	1,257					
	都道府県支出金												
	地方債												
	その他												
	一般財源												
	事業費計 (A)	千円	1,616	1,493	1,454	1,329	1,359	1,257					
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	
	人件費計 (B)	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,216	3,093	3,054	2,929	2,959	2,857					
⑤活動指標	ア	千円	1,616	1,493	1,454	1,329	1,359	1,257					
	イ												
	ウ												
⑥対象指標	カ	協議会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	キ												
	ク												
⑦成果指標	サ	ha	8	11	16	16	17	17					
	シ												
	ス												

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

販売価格が生産費を恒常に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るために、食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持することを目的とする畑作物の直接支払交付金事業及び米・畑作物の収入減少影響緩和対策事業と、食料自給率・自給力の維持向上を図ることを目的とする水田活用の直接支払交付金事業を円滑に推進するため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

平成23年度までは、国から地域農業再生協議会への直接補助事業であったが、平成24年度からは、県と市を経由する間接補助事業となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

農家の所得向上につながっており、安定した経営を営むために存続を希望する声が多い。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	農業経営を安定させるための推進活動に貢献している。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	国の制度で市町村に負担義務はない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	国→県→市→地域農業再生協議会と交付ルートが定められている。
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	県からの配分額がそのまま地域農業再生協議会へと支出されるもので、これ以上向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	経営所得安定対策事業を実施できなくなり、大きな損失となる。
効率性評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	地域農業再生協議会が事業を推進するための必要最低限の費用である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	最低限の業務時間で、職員1名が担当している。
公平性評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	市からの事業費の交付対象は地域農業再生協議会と定められており、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- ① 現状維持
2 改革改善(縮小・統合含む)
3 終了・廃止・休止
- 

(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
向上	成績維持			
		●		×
低下		×	×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- ① 現状維持
2 改革改善(縮小・統合含む)
3 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

現状維持で継続する。